

## ガーナ原子力関係者日本招へい WSPEEDIトレーニング(2024年9月25日～10月3日)

2024年10月4日

JICCは2024年度の原子力発電導入基盤整備事業として、9/25～10/3の期間でガーナ原子力委員会原子力研究所の研究者を2名招へいし、日本原子力研究開発機構(JAEA)の協力をいただき放射性物質の様々な条件の大気拡散計算を効率的に実行できる WSPEEDI (Worldwide version of System for Prediction of Environmental Emergency Dose Information)を原子力発電所サイト選定プロセス等で利用するためのトレーニングを実施いたしました。

### 【経緯/目的】:

2022年10月、日米両国政府が小型モジュール式原子炉(SMR)の導入でガーナと提携することを発表以来、日米両国はガーナに対し SMR 事業化調査支援や原子力人材育成支援等の国際協力を推進しており、原子力人材育成の一環として昨年度も JICC 事業としてガーナ原子力関係者日本視察団を招聘しています。本年は7月に実施したガーナ原子力計画キーパーソン日本招へいに加え、ガーナ原子力委員会からの要請にもとづき原子力発電導入基盤整備事業としてガーナ原子力委員会原子力研究所の研究者を2名招へいし、日本原子力研究開発機構(JAEA)の協力をいただき放射性物質の様々な条件の大気拡散計算を効率的に実行できる WSPEEDI を原子力発電所サイト選定プロセスで利用するためのトレーニングを実施いたしました。本トレーニングにより WSPEEDI システムの利用方法を理解いただくとともに、帰国後はガーナ原子力研究所にて指導者として活躍いただきます。

### 【結果】:

- (1) ガーナ原子力委員会/原子力研究所副所長と調整し JAEA での WSPEEDI トレーニング参加者として被招聘者2名を日本に招へいしました。
- (2) 日本原子力研究開発機構(JAEA)の協力をいただき WSPEEDI トレーニングを実施しました。



JAEA でのトレーニングの様子